

安全

5-6 バイオハザードについて理解していますか？

バイオハザードとは、病原微生物や寄生虫などによって引き起こされる災害のことである。バイオハザードの原因となる病原微生物等は肉眼で見ることができず、ちょっとした油断が重大な感染事故につながる。

大学では、研究や医療に、バイオハザードが発生しやすい場所がある。バイオハザードを起こさないためには、専門的な知識と技術が必要であるため、むやみに立ち入らない。

バイオハザードを起こさないためには、組換え DNA 実験、微生物実験、動物実験に関する法令や規則などを遵守し、それらに関する知識や技術を熟練の方から学ぶことが重要である。

またこれらが付着した廃棄物は、法律では「特別管理産業廃棄物」、本学では「感染性廃棄物」または「医療系廃棄物」と呼ばれており、厳重な管理下で廃棄物処理を行う必要がある。病原微生物等は、無害化できる場合は無害化する必要がある。

本学には、バイオハザードを受ける可能性がある場所がある。また病原微生物等を扱う時は、教職員の指導をきちんと受けてルールを守る。